



盆踊り

盆踊りは元来、仏教行事です。平安時代の空也くうや

踊ゆ躍やく念ねん仏ぶつが、一遍いっぺんの念ねん仏ぶつ踊おどりに引き継つぎがれ、民間みんかんに広

まったとされています。

岩波仏教辞典より

「お盆に寄せて」

曹洞宗 ウキス興源寺

住職 田宮隆児

横浜市鶴見区に建つ曹洞宗の
大本山総持寺では、毎年七月の
十六日から五日間盆踊り大会が
盛大に行われる。

六十数年前から欠かさずこの
盆踊り大会でかかる曲が「平和
音頭」である。地元では恒例と
なっているこの踊りは、第二次
世界大戦後鶴見の人々の平和へ
の祈りと復興への願いを込めて
作曲されたものだ。先輩方の話
によれば、黒い衣を身に付けた
修行僧が中心になり、一晚に何
回もこの「平和音頭」を踊った
という。

この「平和音頭」は日本だけ
ではなく、ハワイのお寺でも踊
られている。実はハワイやアメ
リカ本土の仏教寺院では盆踊り

が盛んなのだ。

盆踊りは現地では、盆ダンス
や盆カーニバルなどと呼ばれ、
日系人ばかりではなく様々な人
種が入り混じり、ことにハワイ
ではゴム草履にショートパン
ツ、祭り半纏に手ぬぐいを肩に
掛けたスタイルで、子どもから
お年寄りまでニコニコ顔で楽し
そうに踊るのである。踊りの輪
の外ではかき氷やホットドック
などを食べながら、恥ずかしく
て輪の中に入れられない家族が見守
る。そして夜が更けるまで踊り
は続く。

盆踊りだけではなく、ご先祖
様への敬いの気持ちを含めて行
われるお盆の法要も海外で受継
がれている。年に一度、しばし
休息し、家族が集まり故人やご
先祖様へ思いを寄せるお盆は大
切な仏教行事である。

花まつり報告

- <式典> 日時：平成23年4月8日(金)午後1時より2時
会場：善導寺(新潟市中央区西堀通4番町823)
- <おねり> 古町通を旧・北光社前まで
- <灌仏> 日時：平成23年4月8日(金)午前10時よりおねり到着まで
会場：古町アーケード(旧・北光社前)
- <講演会> 日時：平成23年4月8日(金)午後3時より
会場：ホテルイタリア軒5階
講師：朝倉 孝英師(真宗大谷派 金宝寺様 御住職)



式典



園児さんの灌仏



おねり



灌仏会場

また、「今年も講演会はありませんか？」という質問も、灌仏会場で何人かの方からいただきました。講演会を楽しみにしていらつしやる方がおられることは、本当にうれしいことでした。

市民の皆様の反響は、運営に当たるスタッフにとって、活動を継続する最上のエネルギー源です。

当日はあいにくの小雨模様となり、『おねり』は古町通のアーケード部分だけで実施しました。それでも式典会場から古町通への移動では雨に打たれ、園児さんや先生方は大変な思いをされました。ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

今年は会場寺院が笹谷小路の上手でしたので、灌仏会場も例年と異なっており、旧・北光社前になりました。「今年は場所が違うんだね」と声をかけてくださる方もおられ、新潟佛教会の花まつり行事が、新潟市に定着していることの現れだとうれしく感じました。

花まつり記念講演

講師：朝倉 孝英師（真宗大谷派 金宝寺様 御住職）

演題：『七歩 あゆみだすということ』

講師から頂戴した、講演要旨を掲載いたします。



東北地方・太平洋沖地震に被災され、またおびただしい数の消息不明の御親族に心休まる暇のない不安に見舞われていらつしやる方々に、心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々には哀悼の意を捧げます。新潟佛教会では毎年花祭りを開催しています。古町十字路で灌佛の儀式を行い、園児たちのかわいらしい姿を通して多くの方々にお釈迦様の誕生日の啓発を行っています。私たち仏教徒にとつて、お釈迦様の誕生日はどのような意味を持つのでしょうか？仏教徒と名乗る日本人は多いと思いますが、その教えを理解している人は、そう多くはないのではないでしょうか？仏教は何を私たちに教えているのでしょうか？お釈迦様がお生まれになった時に、七歩、あゆまれて天と地を指さして「天上天下唯我独尊」と言われたということを知る方は多いと思います。お釈迦様の後世の偉業を表現した言葉だということは想像がつかます。しか

しその「七歩」には大きな意味が込められています。もともと私たちの住んでいるこの娑婆は、行いによって輪廻する「六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天）」と言われてます。お釈迦様がお生まれになったインドはもともカースト制度（身分制度）という輪廻思想が日常生活に深く根ついていました。今でも生まれによって結婚や就職・住居・仕事などが厳しく制限されています。その決まり事を破ったことがきっかけで殺人事件に発展したということもあると聞きます。

その様な風土に人と世の救いが生まれ出なければならぬ必然性があったわけです。人が人を差別し、社会を混乱させ、迷いの悲劇を生む六道輪廻の価値観を超える教えが待たれていました。そこに生まれたのがお釈迦様でした。仏教の誕生でした。人と世が平等に暮らせる救いの実現でした。

日本人に一見、六道輪廻は無関係のようにも思えますが、それは住んでいる環境のことばかりではなく、現代に生きる私たちの精神性にも深く関係していると思います。地震によって電気水道などのライフラインが寸断した結果、まことに暮らしている私たちの生活環境が見えてきました。文明の発展により、豊かさを手にし幸せな暮らしがあったはずでした。しかし、その反面福島原発のような問題に、かえって見えなくなってしまうた人間の煩惱にまみれた姿が浮き彫りにされていくようにも思います。人間は同じ過ちを繰り返すものなのででしょうか？少なくともそういう姿を心に刻んでいくことが七歩目かもしれません。

合掌

ののさまなむなむ

新潟市西区小新西 2-20-16
浄土宗 長善寺

保育園 るんぴいに

毎朝遊戯室で手を合わせ、おまいりする園
はどのような保育園でしょう。

園舎は園児が走り回れる広さを確保し、園
庭には山を築き、大きな木を植えます。大き
な砂場では家庭でなかなかできない「どろん
こ遊び」を自由にさせ
たいと考え、シャワー
付きの風呂場も用意し
ました。

園舎は木造で平家づ
くりといたしました。
木のぬくもりが子ども
達に優しく豊かなこ
ろを育てると考えるか
らです。

幼児部の各部屋の中
は机やイスを取り払い
自由な空間とし、床に



は床暖房を採用し、より
一層自由な「はだし保育」も
可能となりました。
一人一人の乳幼児をゆっ
くりと、ご家庭と一緒にな
って、子育てのお手伝いを
させていただければと思い
ます。



「花まつり」における義援金の募財について

花まつりの古町灌仏会場にて、東日本大震災の義援金
として「賽銭箱」を設置したところ、多くの皆様からご
協力を戴きました。

集まった十萬二千八十一円は、新潟市仏教連合会を通
して、新潟市社会福祉協議会へ寄付させて頂きました。
新潟市内へ避難しておられる方々などへの支援にお使
い戴くことになりました。ご協力くださった皆様に厚くお
礼を申し上げます。

あわせて、九月九日（金）に県民会館大ホールにて、
新潟市仏教連合会の主催で『東日本大震災犠牲者追弔法
要』を行います。是非ご参拝ください。

《編集後記》

皆様は「三離れ」という言葉
をご存じでしょうか。葬儀離れ、
墓離れ、寺（僧侶）離れのこと
で、この現象は各宗で意識され
ているのではないのでしょうか。

三つそれぞれの問題点として
「葬儀離れ」は葬儀不要（火葬
のみ行う直葬）、簡素化された家
族葬、もともと無宗教の三点が
あります。また「墓離れ」とは、
墓石と墓地離れで、金銭面、後
継者不足、子どもに負担をかけ
たくない等で、そのため永代供
養墓、納骨堂、散骨、樹木葬な
どにはしる傾向です。最後に「寺
（僧侶）離れ」ですが、率直に
言えば僧侶不信です。寄付依頼
が多い、相談を聞かない、態度
が横柄、勉強不足、法話がマン
ネリ、お経が下手？等々。

しかしこれらの問題は、寺（僧
侶）側だけの責任ではないはず
です。一般壇信徒側の信仰離れ、
霊的存在の否定といった傾向の
影響もあるといえます。解決策
は容易ではありませんが、僧侶
は人々の精神的支えとなるよう
努力し、一般壇信徒は、先祖を
尊び、家族や地域の絆づくりを
目指す姿勢を基本としていくこ
とでしようか。最後に、生きと
し生けるもの全てに対して「尊
敬の念、感謝の心」をいつも心
に持たたいものです。（憲）